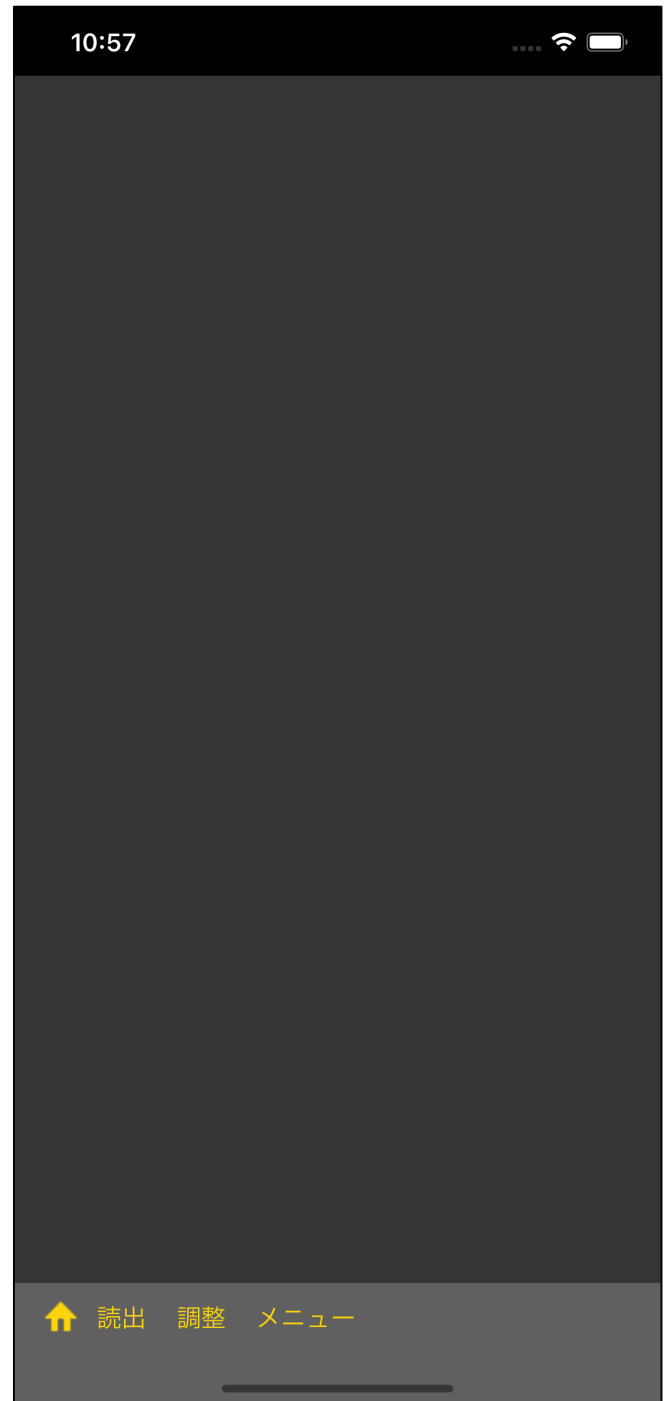
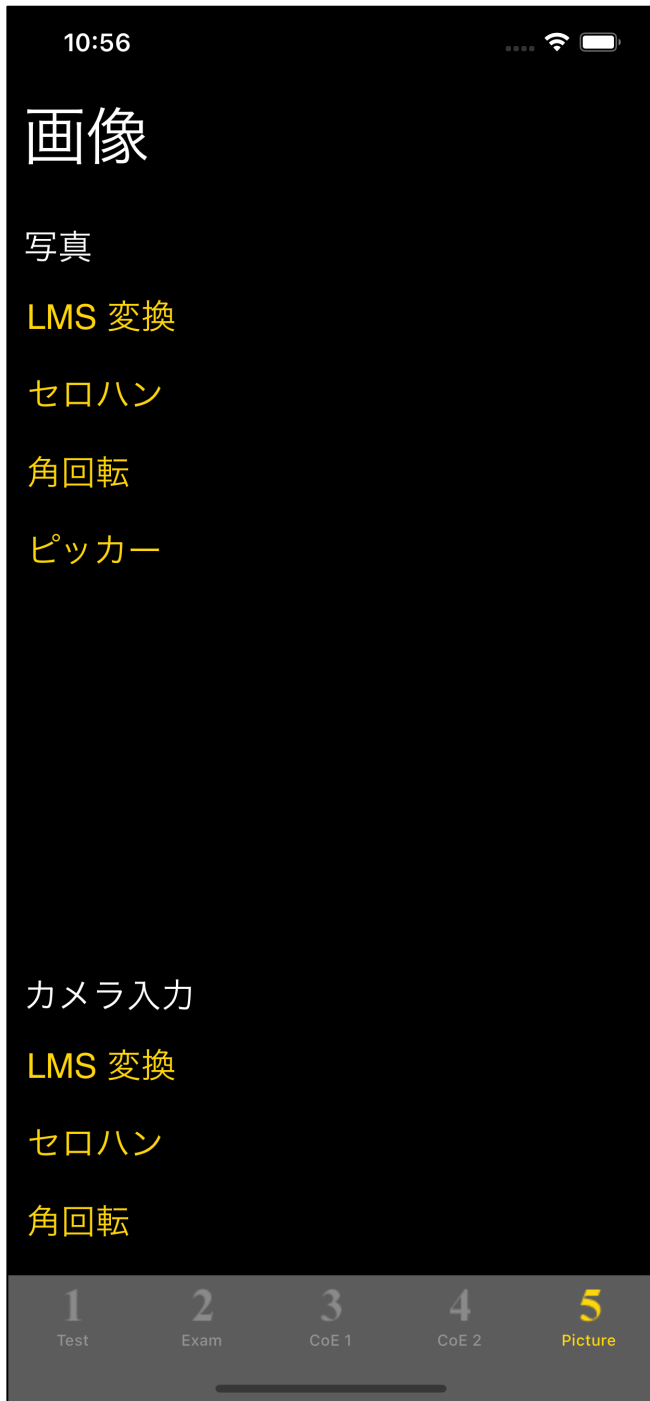


LMS 変換



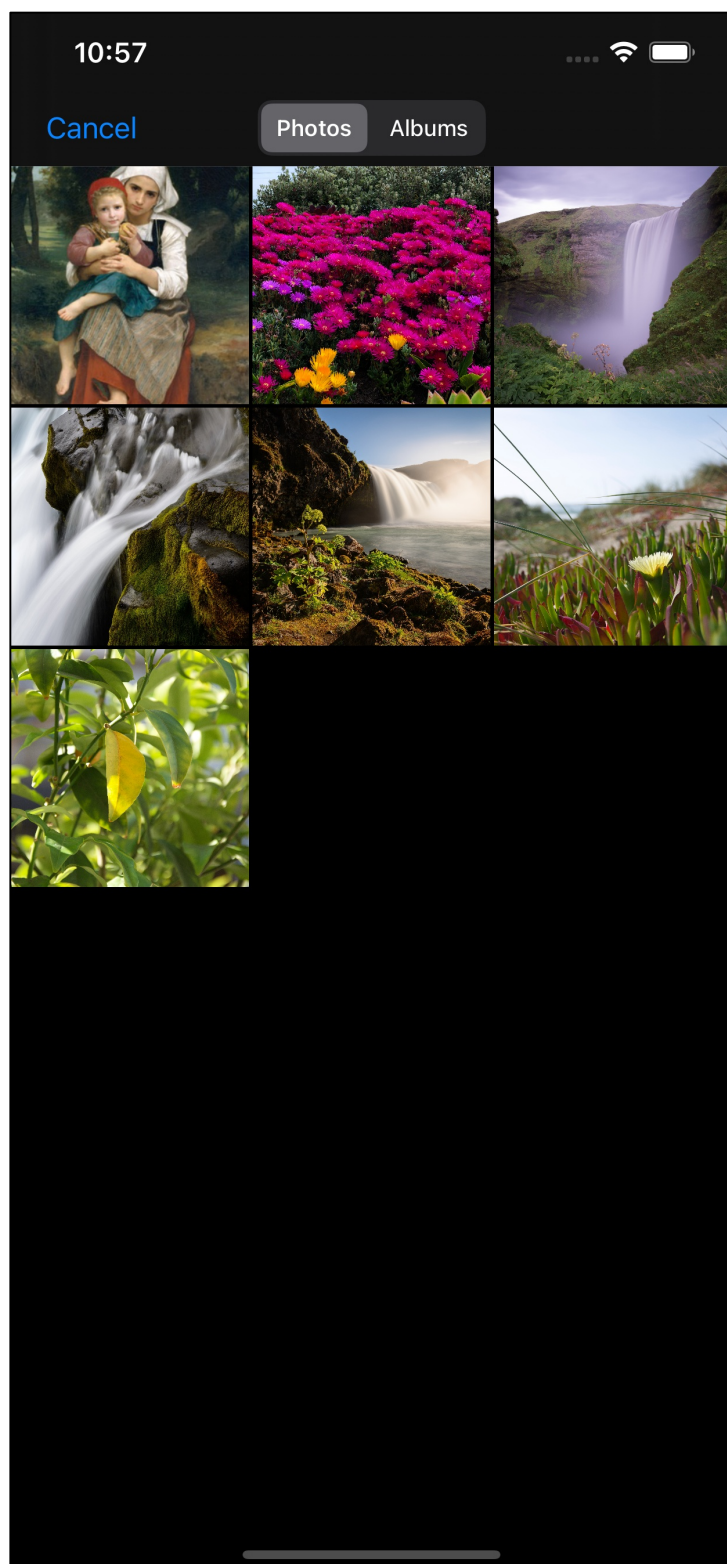
5枚目のタブのトップは、左のもののようにになっています。

3つとも、写真 (カメラロール、Photos) から画像を読み込みます。

一番上の LMS 変換は、『ふつう 1型2色覚』等を行うものです。

LMS 変換ボタンを押すと、右のような真っ白なビューが出てきます。

ツールバーの、読み出しボタンを押すと、次のようになります。





読み込んだ直後は、
こういうふうになります。

このコマンドでは、画像のサイズが、iPhone のスクリーンの対角線の $\frac{2}{3}$ よりも大きい場合には、その長さまで、縮小します。

原画サイズでは、処理はかけません。

3

この長さより小さい場合は、原画サイズを扱うことになります。

10:58



ふつう



🏠 読出 調整 メニュー

10:58



1型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー

10:59



2型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー

10:59



3型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー



ツールバーの "調整" ボタンを押すと、このようなスライダーが出てきます。

スライダービューは、土台のどこかを、
長押しすることでも、閉じることができます。

11:01



ふつう



🏠 読出 調整 メニュー

11:01



1型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー

11:01



2型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー

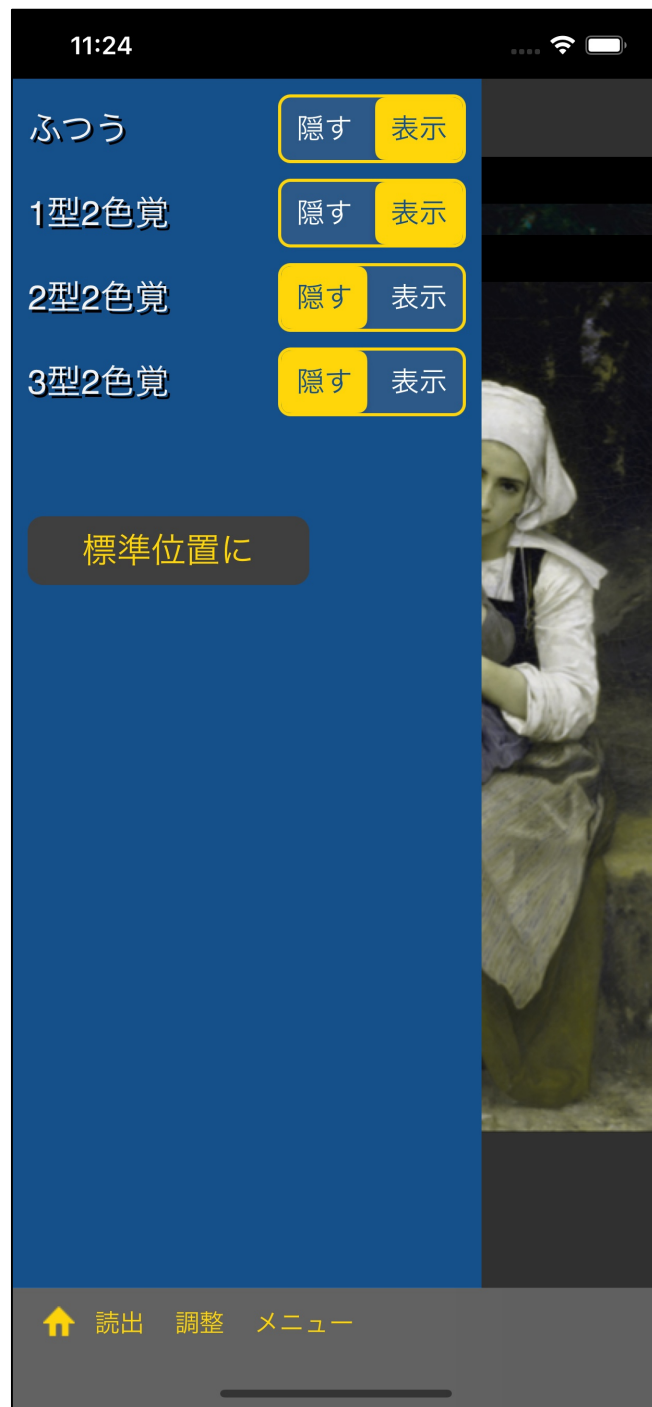
11:01



3型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー



ツールバーの3番目のメニューボタンを押すと、各ビューの表示-非表示の設定になります。

11:24



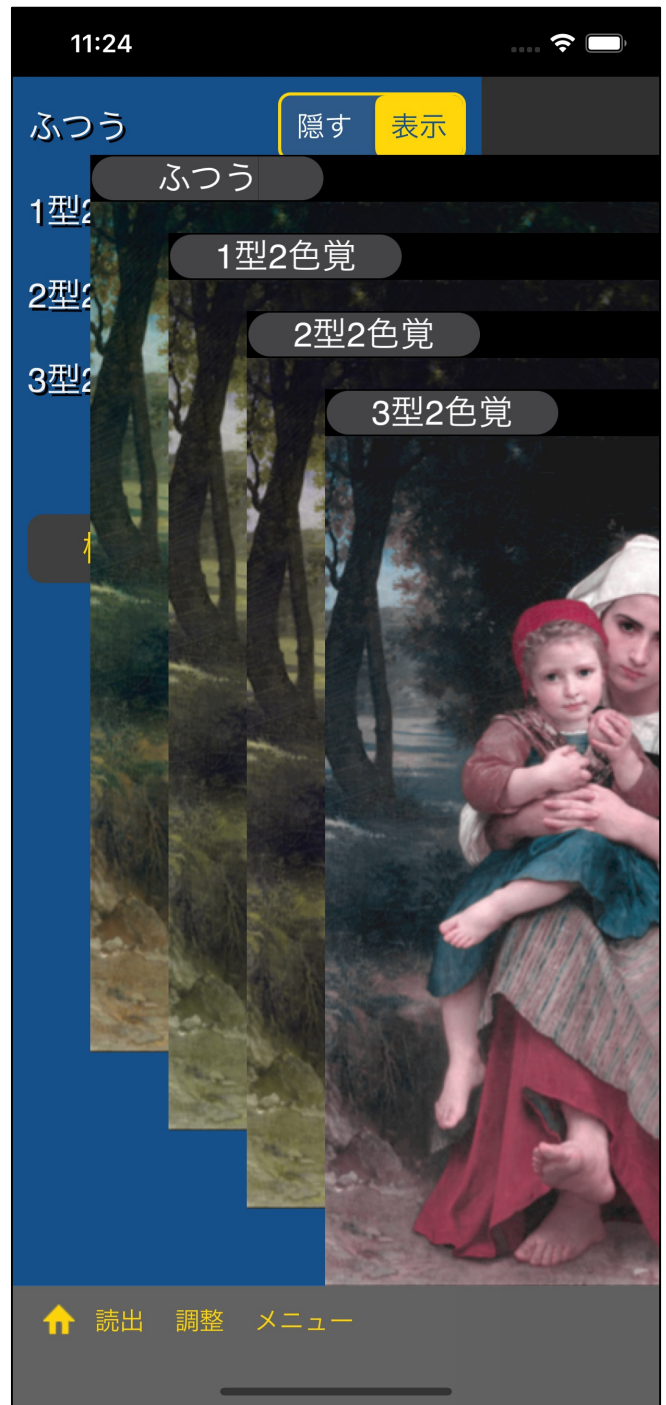
ふつう

1型2色覚



🏠 読出 調整 メニュー

こういうふうに、なります。



"標準位置に" ボタンを押すと、各ビューは、規定の位置に来るようになっていきます。

11:24



ふつう

1型2色覚

2型2色覚

3型2色覚



↑ 読出 調整 メニュー

こういうふうに、なります。

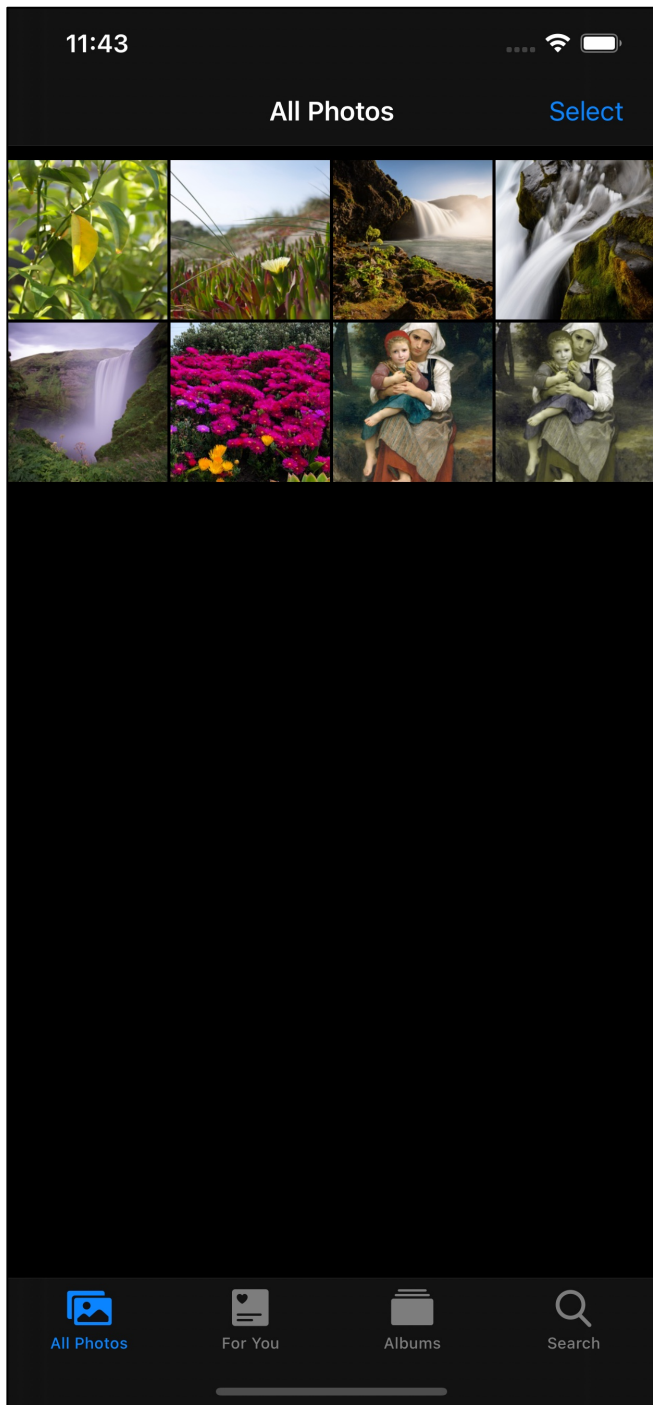


各ビューを、長押しすると、右のようなメニュービューが出てきます。

"写真に送る" ボタンを押すと、画像が、写真(カメラロール)に転送されます。

画像のサイズが、iPhone のスクリーンの対角線の2/3 よりも大きい場合には、その長さにまで、縮小します。

この縮小がかかっている場合は、縮小したサイズでの転送になります。



こういうふうに、なります。